

第1章 はじめに

1. 策定の趣旨

人口減少と少子高齢化が進む中であっても、経済を持続可能なものとし、住民が安心して暮らしていくためには、多彩な特色を活かしてそれぞれの自治体が魅力を磨き続けるとともに、密接なつながりの中で相互に連携し、地域全体の活力を生み出していくことが重要です。

久留米広域連携中枢都市圏ビジョン（以下、「ビジョン」といいます。）は、古くからの強い結びつきのもと、経済圏や生活圏を共有する久留米市と大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町が、「経済成長のけん引」「高次都市機能の集積・強化」「生活関連機能サービスの向上」の3つの分野で連携し、第1期ビジョン（平成28年度～令和3年度）に引き続き、地方から大都市圏への人口流出を食い止め、大都市圏から地方への人の流れを創出し、魅力ある圏域を創造していくために、目指すべき将来像とその実現に向けた取組みを示すものです。

2. 連携中枢都市圏の名称及び構成自治体

（1）連携中枢都市圏の名称

久留米広域連携中枢都市圏

（2）連携中枢都市圏の構成自治体

連携中枢都市：久留米市

連携市町：大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町

3. ビジョンの計画期間

令和4年度から令和7年度までの4年間